

# 第2回 いちご一会国体記念 中学生弓道大会 実施要項

- 1 主催 栃木県弓道連盟
- 2 主管 栃木県中学校体育連盟弓道専門部
- 3 日時 令和6年5月3日(金・祝) 午前9時開会(受付:8:30~ 監督会議:8:45~)
- 4 場所 ユウケイ武道館弓道場(宇都宮市西川田4-1-1)
- 5 参加
  - (1)資格 次のいずれかの資格を満たす団体に参加資格を与える。
    - ①中学校が出場を認めた弓道部
    - ②各県の中体連が承認した地域クラブ活動等
    - ③その他、主催者が承認した団体※なお、県外参加団体については、参加団体数に応じて一定の制限をすることがある。その場合は**先着順**とする。
  - (2)団体構成 1 チーム3名で構成する。2名以下でも団体と認める。  
1 団体につき男女各2チーム以内。  
補欠はチームの別を定めず3人まで。
  - (3)参加費 正選手1名につき¥100を受付で納入すること。領収書は受付で交付する。
- 6 競技
  - (1)種目 男女別 団体個人 近的競技
  - (2)競技 立射法 的中制(同中の場合は競射とする)
    - 団体1次予選 1人4射(4ツ矢1回)計12射を実施する。16位タイまでのチームを2次予選進出とする。
    - 団体2次予選 1人4射(4ツ矢1回)計12射を実施する。**1次と2次の合計的中数**の上位8チームによる決勝トーナメント戦を実施する。同中により8チームが決定しない場合は競射によって決する。
    - 団体決勝 予選上位8チームのトーナメント戦とする。組合せは既定の的中順とする。同中の場合は、矢返所前にて抽選を行う。
    - 個人予選 団体1次予選が個人予選を兼ねる。男女ともに4射3中以上の選手を決勝進出とする。
    - 個人決勝 個人決勝の第1位決定は射詰競射を実施する。予選の的中は成績に含めない。4射連続的中して勝敗の付かない場合、5本目以降は8寸星的を使用する。その場合、8射終了ごとに選手は一度退場し5分の小休止を確保する。また、失中を含んで4本目終了時に勝敗の付かない場合には、一度退場して、遠近競射にて順位を決する。優勝決定以外は遠近競射を実施する。ただし、一つの的に行射する選手が13名を超える場合、遠近競射の前に射詰競射を1本行うことにより選手を選抜する。
  - (3)選手変更 朝の受付、及び決勝トーナメント戦前に限り認める。事前に申込書で申請している補欠選手から変更する。変更の方法については栃木県中体連弓道専門部の規定による。
  - (4)表彰 入賞した団体や個人には賞状を授与する。
    - 団体 男女各3位まで(3位は2チーム)。
    - 個人 男女各5位まで。

(5) 競技規則 全日本弓道連盟競技規則を準用する。ただし1立5分30秒以内とする。5射場で進行し、的間隔は145cm。

## 7 申込

申込書(エクセル)に必要事項を入力し、4月26日(金)までにメールで送信する。メールの件名は「いちご一会大会参加申込(〇〇中)」とする。申込書のエクセルは、栃木県中学校体育連盟弓道専門部HPにあります。

HP <https://sites.google.com/view/tochigi-jhs-kyudo>

申込先 t468231@g.ueis.ed.jp 宇都宮市立鬼怒中学校 教諭 小嶋陽介

申込書の原本は大会当日に持参する。(学校団体は学校印 地域クラブ活動は代表者丸印)

## 8 その他

- ・立順は事務局が抽選で決定する。
- ・予選競技の出場順はBチームからAチームの順となるので申込の際は注意のこと。
- ・参加校や地域クラブ活動等の監督および引率教員は、必ず大会運営役員を担当する。
- ・生徒のみの参加は認めない。
- ・開会式と閉会式は、射場にて選手のみ(補欠は含まない)が参加して行う。
- ・矢渡は実施しない。
- ・着装は栃木県中体連規則に準ずる。ただし、県外の参加校においては、ゼッケンと女子の鉢巻の着用を免除する。
- ・危険防止のため、簡易的な弓具点検を実施する。
- ・別に定める区域の応援席において、保護者の観戦を認める。
- ・昼食の購入を希望する監督や引率教員等は、申込書に必要個数を入力のこと。

## 競技上の注意

### 【競技について】

- ①取矢は行わなくてもよい。矢こぼれは認めない。
- ②上衣は白以外の色を基調とするものを認める。ただし、同一団体内の色は揃えること。
- ③原則、弓道着を着用して競技を行う。
- ④成績表示に疑問があった場合、行射終了後、**射場から退出する前**に、射場中央に控えている進行係に申し出る。退出後の申し出は一切受け付けない。
- ⑤立順表をよく確認し、5立前には招集場所に行き召集係の指示に従う。なお、放送での呼び出しは原則行わない。第2控から第1控に進む時(前立の選手が全員一手を引き終わる瞬間)に、射場裏手の廊下にはいない者は、その立に限り失権とする。
- ⑥団体戦予選終了後、(宇市弓)正面玄関、(ユウケイ)更衣室前にて決勝トーナメントの組み合わせ抽選を行うので、決勝に進出したチームの代表1名は集合する。
- ⑦安全上問題がある場合、進行係や競技委員長が行射の進行を中断したり、退場を宣言したりする場合がある。
- ⑧行射の際には、介添の生徒または監督を伴うようにする。その際、**替弦か替弓を持参すること**。また、替矢を持参することができる。これによらぬ場合は、自身で替弦を携帯して入場のこと。
- ⑨看的矢取りは、当番校が実施する。
- ⑩開会式並びに閉会式を、ユウケイ武道館会場の場合は射場(射場控)で、宇都宮市弓道場の場合は矢道(雨天時は射場)で実施する。

### 【行動について】

- ①応援は、応援席で拍手で行う。各校ごとの応援場所の指定は行わない。発声による応援はせず、私語を慎む。
- ②靴の踵<sup>かかと</sup>やベロに記名をする。
- ③巻藁射場における巻藁練習は譲り合って厳<sup>げんしゆく</sup>粛に使用する。巻藁射場は練習の為だけに用いるものとし、控室としての使用や、飲食、更衣は禁止する。弓具も置いてはならない。
- ④更衣は各校の陣地で行う。襪や鉢巻、ゼッケンの支度も同様に陣地で行う。
- ⑤道場内のトイレは選手専用とする。応援生徒は(宇市弓)管理事務所裏、(ユウケイ)中央ラウンジのトイレを使用する。
- ⑥昼食は定められた時間以外にとらない。水分は必要に応じて、各校の陣地でとる。応援席は飲食不可。
- ⑦運動公園の敷地外に出てはならない。
- ⑧自転車を使用する場合は、学校ごとに美しく並べる。
- ⑨大会終了後、各校で使用した場所のゴミを片付け、忘れ物に注意する。
- ⑩各校の陣地は原則荷物置き場であり、最小限度の大きさにとどめる。
- ⑪取り違え防止のために、看的所の矢は速やかに引き取る。